

花 上野焼秋の窯開き
と緑とコラボしたユニークな器づくり

上野焼協同組合主催の「上野焼秋の窯開き」が10月25日から3日間で開かれ、県内外から大勢の焼き物ファンが上野の里に訪れました。今回は新作の他に、地元生花店とコラボした上野焼も販売。来場者たちは、この日のために丹精込めて作られた品々を直接手に取りながら、お気に入りの一点を探し歩いていました。



↑昇龍窯・守窯とローゼブルーム(直方市)がコラボした器に来場者は興味津々。

↓ゴールテープを切るまでデッドヒートが繰り返された5・6年生男子の部。



第17回 福智町ふれあいマラソン大会
走る 喜び心に駆け巡ったスポーツの秋

子ども育成連絡協議会主催の「ふれあいマラソン大会」が、11月23日に彦山川・中元寺川合流点河川敷で開催されました。町内の児童・生徒90人は、8部門に分かれ、0.6km～3kmのコースを全力疾走。出場した子どもたちは、沿道から送られる家族や友人からの声援を糧に、ゴールまで駆け抜けていました。

↓メインイベントであるレモンの収穫体験では、参加者がお気に入りのレモンを10個ほど選び丁寧に収穫。



あがのレモン収穫祭
思い出に残る美味しい収穫祭

耕作放棄地を活用し無農薬で栽培したレモンを収穫する「あがのレモン収穫祭」が11月24日に行われました。当日は323人が参加し、レモンの収穫体験や、レモンスクラブ・レモン石けん作り、レモンもつ鍋の出店など、胸が躍る企画を満喫。実行委員長の日高さんは「去年に比べ、多くのかたにあがのレモンの魅力を感じてもらえたと思う」と目を細めました。

老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会
頂を目指し魂を込めて打った決勝戦

赤池・金田地区の各支部予選を制した84人による「老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会決勝戦」が、10月28日に方城グラウンドで行われました。今回の大会には予選会を含め、延べ139人がエントリー。予選会から決勝戦までハイレベルな戦いが繰り返され、選手たちは鍛錬の成果を存分に発揮しました。



↑今大会では、25mもあるコースで5人の選手が華麗なホールインワンを記録。

↓「豊かな人生とはなんですか」というテーマで大人と対話をする十時 鈴空くん。



赤池中学校 トーク・フォークダンス
真剣対話で学び感じた新しい世界

対話を通じて自分の生き方を真剣に考える心を育て、視野を広げることを目的とした「トーク・フォークダンス」が、11月22日に赤池中学校で行われました。3年生47人は地域の大人たちと「宝物はなんですか」など、27個のテーマについて対話。異なる世代との交流で、生徒たちは新しい世界を学び、感じていました。

若八幡社秋季大祭
域域に活気与える山笠30年ぶりに建立

若八幡社秋季大祭が10月12・13日に開かれ、赤池12支所の人形山笠が30年ぶりに地域を練り歩きました。人口減少などで山笠の伝統が途絶えていましたが、「地域に活気を取り戻したい」と、住民や地区出身者を中心に山笠を復活。お祭り期間中は地域にぎやかな声が響き渡り、住民に活気を与えました。



↑大人にとっては久しぶりの山笠を、子どもにとっては初の山笠を大満喫。

↓トウモロコシでできたエコ風船を飛ばし、見えなくなるまで見送った児童たち。



市場小学校で人権教室
他人を思いやる優しい心の種を風船に

田川人権擁護委員協議会主催の「人権教室」が、11月12日に市場小学校で開かれました。参加した3年生46人は、人権擁護委員による講話やかるたによる授業で思いやり的心をもつ大切さを学習。最後は、子どもたちが育てたひまわりの種と言葉を添えた想いの詰まった風船を大空へと放ち、優しさの種を蒔きました。